

たかしま 広報

Takashima City
Public Relations

2020

令和2年

8

月号

No. 247

西川貴教さんが高島市へ

滋賀ふるさと観光大使の西川貴教さんが、新型コロナウイルス感染症の影響で打撃を受けた観光施設などの状況を憂慮され、メタセコイア並木へお越しくださいました！



主な内容

- 特集1 暮らしを支える、ふるさと納税 ②
- 特集2 たいせつなからだしっかりまもろう！ ④
- 特集3 将来のために行政が^{いま}現在できること ⑥

無料アプリ「マチイロ」で広報たかしまが読めます！

「広報たかしま」はスマートフォンアプリ「マチイロ」でも配信しています。スマートフォン等から当アプリをダウンロードしてお使いください。

※アプリのダウンロードは無料ですが、通信費は利用者のご負担になります。

マチイロ

検索

高島市公式

フェイスブック
Facebook

インスタグラム
Instagram

で情報発信中！

こちらの名前でそれぞれ検索してご登録をお願いします。

・Facebook「あっと高島」 ・Instagram「takashima city #たかP写真館」



イメージキャラクター
「たかP」

豊かな水と緑を、次の世代へ――

暮らしを支える、ふるさと納税

ふるさとを応援したい！

暮らしの支えに活用！

ふるさと納税は、生まれ育ったふるさとや、観光でよく訪れるまちなど、応援したい自治体に行う寄付の事です。ふるさと納税をして必要な手続きを行うと、所得税や住民税の控除を受けることができます。

もともとこの制度は、生まれ育ったまちで教育や福祉の行政サービスを受けても、進学や就職などでふるさとを出てしまったり、人口が集中する都市部に税収が集中してしまったり、少しでもふるさとに恩返ししたいという気持ちを「寄付」に託す制度として生まれました。結果として、地方と都市部の格差を抑える役割を持っています。

高島市では、企業からの寄付も含めて、令和元年度に全国から6億円を超える寄付をいただきました。こうした寄付は、人口減少の課題を抱える高島市にとって、暮らしを支える大切な財源となっています。

全国からお寄せいただいた寄付は、保育料の完全無償化（国の制度で対象とならない乳幼児についても市独自で無償化）、妊婦健診の全額助成、中学生までの子ども医療費無料化（通院・入院とも）など、県下でも高水準の子育て施策に活用することで若者世代の移住につながるほか、メタセコイア並木などの観光資源の保全や魅力向上に活用することで、交流人口の増加を図っています。



市外にお住まいのお知り合いの方にもぜひ高島市へのふるさと納税をおすすめください。詳しくは市のふるさと納税ページをご覧ください。



市内限定 観光みやげを買って寄付！ 『セコイヤチョコレートとのコラボ』

市の観光名所メタセコイア並木とフルタ製菓株式会社のセコイヤチョコレートがコラボし、「メタセコイヤチョコレート」として市内で限定販売しています。この売上金の一部は市に寄付され、その額は累計2,336,100円となりました。寄付金はメタセコイア並木の整備等に使われています。



メタセコイヤチョコレート



メタセコイヤクッキー



メタセコイア並木

皆さんも市外にお住まいのご親戚やお知り合いに、高島市のふるさと納税や寄付を活用した高島市ならではの施策について、ぜひお知らせください。

☎ 総務戦略課
(25) 8114

ふるさと納税で皆さんからいただいた寄付金の使いみち

寄付者が選んだ使いみち	子どもたちが輝くまちづくりに関する事業	自然や水文化を活かしたまちづくりに関する事業	元気に安心して暮らせるまちづくりに関する事業	安全、便利で快適なまちづくりに関する事業ほか
平成30年度寄付金 (令和元年度事業に活用した額)	304,245,000円	103,600,000円	47,100,000円	25,000,000円
令和元年度寄付金 (令和2年度事業に活用予定の額)	261,583,000円	158,300,000円	139,100,000円	41,017,000円
具体的な使いみち	保育料の完全無償化や妊婦健診費用の全額助成、市内小・中学校のICT機器(タブレット)整備など	メタセコイア並木など地域の観光資源の保全や文化財の保全、観光施設の改修など	中学生までの子どもの医療費無料化や在宅介護用品の助成、障がい者や高齢者の交通利用助成など	防災行政無線の維持管理費や災害対策などのほか、OBC高島後援会運営費の助成



【お米シェアプロジェクト】

市では、新型コロナウイルス感染症に関する支援企画として『コロナに負けない！「ふるさと納税で三方よし お米シェアプロジェクト」』を実施しています。

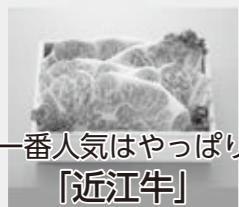
この取り組みは、ふるさと納税の返礼品の一部（現在はお米のみの取り扱い）を寄付者の方からおすそ分けいただき、高島市内の食に不安を抱えているひとり親家庭などにフードバンクびわ湖を通してお届けする仕組みです。



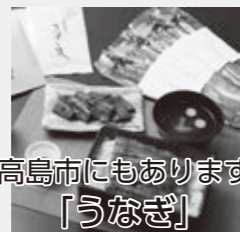
※ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」のみの取り扱いです。



豊かな「恵み」、てんこもり。人気の返礼品をご紹介します！



一番人気はやっぱり「近江牛」



高島市にもあります「うなぎ」



手軽に楽しめる「とんちゃん」



発酵食文化息づく「日本酒(地酒)」



さらりとした肌触り「高島ちぢみ」

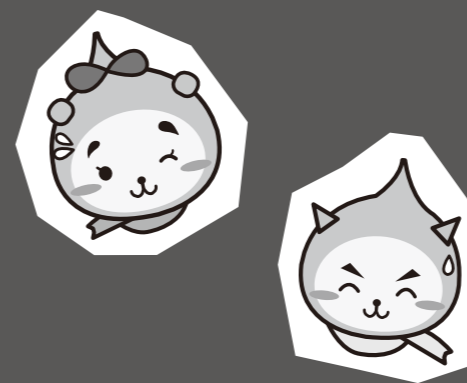


手作りのあたたかさ「高島帆布かばん」

※ふるさと納税で返礼品を受け取ることができるのは市外在住の方のみです。

たいせつな からだ しっかり まもろう！

生活習慣病予防は、健康寿命を延ばす第一歩です。生活習慣病とは、名前の通り、生活習慣が原因で起こる疾患のことです。糖尿病、脳卒中、心筋梗塞など、命にかかわる病気も含まれています。生活習慣病の中でも、高島市で多いのは糖尿病の方です。市の国民健康保険加入者の外来医療費の割合を見ても、糖尿病が上位になっています。糖尿病がどのような病気か正しく知り、自分の生活習慣を振り返ってみませんか。少しでも改善できることがあれば、生活に取り入れてみましょう。



健康推進課 ☎ (25) 8078

糖尿病ってどんな病気？

糖尿病とは、インスリンというホルモンが十分に働かず、血糖値が高い状態が続く疾患です。血糖値が高い状態が続くと、腎不全などの合併症を引き起こす可能性が高くなってしまいます。

糖尿病について もっとよく知ろう！



キーワードは HbA1c

健康診断などの血液検査で実施している「HbA1c」という項目は、糖尿病の指標の一つです。「HbA1c」とは、過去1〜2か月前の血糖値を反映する検査項目です。健康診断当日の食事や運動の影響を受けないので、あなたの日頃の正確な血糖値がわかります。

健康診断で分かる！
糖尿病チェック！

空腹時血糖値
126mg/dl 以上

または
HbA1c
6.5% 以上

🚨 糖尿病の可能性が
あります！ 🚨

やってみよう！適糖生活

糖質は適量な量を取ることが大切です。次のような『適糖生活』を意識して過ごしてみよう。

○適正体重を知り、毎日の体重を測定しよう

BMI(肥満度)を計算すること

で、自分の適正体重が分かります。BMIが22だと、生活習慣病になりにくいと言われています。

BMI = 体重(kg) ÷ 身長(m) ÷ 身長(m)



○自分に適した運動に取り組みよう

近い場所なら徒歩で移動したり、ラジオ体操を始めてみるなど、気軽にできる運動から始めてみましょう。



○手ばかりの飯の適正量を知り、パリンの良食事をいじりよう

手ばかり(すばめた両手にのる量)で、主食の適正量を見てみましょう。もし食べ過ぎているようであれば、一回り小さいご飯茶碗を使いましょう。



○夕食後に間食をとらないよう

間食をとる場合は就寝前は避け、なるべく朝か昼にとるようにしましょう。



運動や食事の工夫など、取り組めそうなことを探してみよう。自分の体を知るために、まずは健康診断を受けることから始めてみませんか？

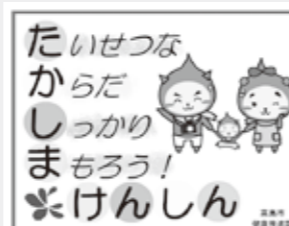
9月 9月 から 集団での健診・がん検診が始まります！

健康診査では、生活習慣病に関わるさまざまな値を知ることができます。健診結果をもとに、保健師や栄養士から生活習慣病を予防するためのアドバイスを受けることができます。

高島市国民健康保険被保険者の方など、市が実施する健診の対象の方には、5月に受診券をお送りしています。

がん検診は、市内在住の方であれば受診していただけます。詳しくはお問い合わせください。

次の二次元コードから詳しい情報をご確認いただけます。



将来のために行政が現在できること

「いま」 町行財政改革課 (25) 8013

市では、第2次高島市総合計画に定める「水と緑人のいきかう高島市」の実現に向けて、行財政改革に取り組んでいます。市役所自身が組織の再編や業務の改善、支出の見直しなどを実施して、行政の最適な姿を目指して変わってまいります。今回は、現在行っている行財政改革について紹介します。

高島市の現状

公共サービスが複雑
公共施設の維持費が多額
地方交付税の段階的縮減

行政改革を推進するぞ！

財源の確保

公共サービスの効率化

市民の協働連携



目指す 将来

水と緑人のいきかう高島市

高島の「恵み」と「誇り」を最大化!!
「住みたい、住み続けたいまちの実現」

税収の減少
地域の担い手・働き手不足
医療費・社会保障費の増加

苦しい...

将来

財政状況が悪化して、満足な公共サービスの提供ができなくなってしまう

これまでの行財政改革の主な取り組み

「高島市経営改革プラン」
(平成18年度～平成25年度)

補助金制度の見直しや公共施設再編に向けた取り組みを進めるとともに、ふるさと納税のリニューアルやその後の取り組み強化、企業や大学等との連携協定の締結、遊休財産の売却処分などの成果を上げ、「高島市総合計画」の実現に向けてさまざまな取り組みを行ってまいりました。

ワンストップサービス窓口を始めました！

総合窓口支援システムを活用し、各種手続きをスムーズに処理する体制を整備しました。迅速かつ正確な行政サービスの提供と利便性の向上につながりました。

職員の適切な定員管理を行いました！

職員数の削減に取り組んだ結果、合併時に724人だった職員数は令和2年4月1日現在で504人となりました。(消防職員などを除く)

「高島市行財政改革計画」
(平成26年度～令和元年度)

補助金制度の見直しや公共施設再編に向けた取り組みを進めるとともに、ふるさと納税のリニューアルやその後の取り組み強化、企業や大学等との連携協定の締結、遊休財産の売却処分などの成果を上げ、「高島市総合計画」の実現に向けてさまざまな取り組みを行ってまいりました。

公共施設の再編を進めています！

「高島市公共施設等総合管理計画」、「高島市公共施設再編計画」令和6年度末までに公共施設の延床面積を10%削減」に基づき、令和元年度末には、延床面積比で4.57%削減しました。



ワンストップサービス窓口



再編によりリニューアルした今津東コミュニティセンター

琵琶湖周航の歌資料館を併設

第2期高島市行財政改革計画(令和2年度～令和6年度)を策定しました

環境の変化やスピードに対応するため、第1期計画の終期を1年前倒しして、令和2年3月に新たに「第2期高島市行財政改革計画」を策定しました。

また、計画に基づく取り組みを着実に推進するために、直近3か年を計画期間とする「行財政改革推進計画」を策定し、経過や効果を毎年度検証し早期に目標が達成できるように取り組んでいます。

ここでは、「行財政改革推進計画」の内容と、その具体的な事業について紹介します。



1 財政基盤の力を高める

更なる歳入の見直しと歳入確保の取り組みを推進し、新しい施策にも積極的に取り組める財政基盤を目指します。

歳入の確保

- 財産処分等の促進
- 受益者負担の適正化
- 自主財源の確保
- 公用車広告事業

高島市公用車広告事業を導入し、新たな財源を確保するとともに地域経済の活性化を図ります。



歳入の見直し

- 選択と集中の更なる徹底
- 公共施設の適正管理と再編
- 経営の健全化
- 特別会計の安定した運営
- 地方公営企業会計の経営基盤強化

2 職員の働き方の質を高める

業務の標準化や効率化を推進し、職員一人一人の能力と意欲の向上を目指します。

執行体制の見直し

- マネジメント体制の強化
- 人員体制の適正化
- 児童発達支援体制の見直し

障がい児支援の体制強化に向け、発達相談窓口と療育施設を併せた「児童発達支援センター」を開設しました。児童の発達支援に関する総合的な地域支援体制を構築します。



ICTを活用した業務改善

- 電子化の推進
- 業務プロセスの標準化
- 自立型の人材育成
- 職員の意識改革と能力開発

3 多様な主体との連携力を高める

これからの行政サービスの在り方を見つめ直し、多様な主体と役割分担しながらともに歩む市役所を目指します。

地域力の強化

- 市民主体の市政運営
- 地域住民の連携推進

集落座談会などで課題認識を共有するとともに、地域自治組織のあり方検討委員会の意見を踏まえ、地方自治の方向性を明確にして実践に結びつけます。



公民連携の推進

民間活力の効果的な導入

市の将来のためにこれからも変わりが続けていきます！

